

## 感謝

平成二十七年九月、二度目の脑梗塞発症以来、治療トリハビリに努めて参りましたが、まだ完全に快復するには至らず、断腸の思いであります。この度の衆議院選挙に立候補をしないことを決断いたしました。

長年にわたり皆様には、本当にお世話になりご支援いただきましたことに心から感謝と御礼を申し上げる次第です。

私は二度の落選を経て、昭和五十五年の初当選以来、今日にいたるまで三十七年余り、憲法改正の実現を一貫して政治活動の中心としてきました。その夢が現実のものになるうとしている目前に、出馬断念せざるを得ないことは本当に無念の極みとしか申せません。

私の志と、今までお世話になった皆様や地元岡山への恩返しを果たすという大きな責任を、昭和五十四年生まれの子男 正二郎に託します。

どうか私同様に皆様のご指導ご鞭撻を若い正二郎に賜り、お育ていただきませう。心からお願ひ申し上げます。

あらためて長く温かいご厚情に衷心よりの感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

平成二十九年九月

平沼 赳夫

## ご挨拶

私 平沼正二郎は、衆議院総選挙への立候補を断念した父 平沼赳夫の志を継承することを決意いたしました。

自らの損得ではなく、私心無く公に尽くし、間違っていることには断じて妥協することなく、信念を貫き通し続けてきた父を心から尊敬しております。

父がどんな立場になっても、終始一貫お支えいただいた皆様、地元岡山三区の皆様から頂戴した大変大きな御恩にあらためて心から感謝を申し上げます。若輩者ではありますが、父の夢と志を受け継ぎ、日本と郷土岡山の発展のために、努力精進して参ります。

何卒ご指導ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年九月

平沼正二郎